

冬道の安全を守る、除雪準備は万全です！

当県北建設事務所管内では、冬の降雪期間、幹線道路はもとより通勤通学等、地域の生活を支える道路など、約1,025kmの除雪を行っています。

中でも県北地方と会津地方を結ぶ国道115号土湯道路は標高が高く、管内の山間部で最も早く降雪することから11月初めに除雪の体制を整えます。今年も11月4日（火）に土湯トンネルに近い吾妻土湯道路管理所において、除雪機械の出動式を行い、今シーズンの冬道の維持管理がスタートしました。



挨拶する中川所長

除雪機械出動式に先立ち、式の出席者全員で、除雪作業の安全と冬期間の無事故を祈願しました。

その後の出動式では、主催者である県北建設事務所中川善則所長より「土湯道路は県北地方と会津地方を結ぶ重要な幹線道路、厳しい環境時も決して慌てず交通の安全を確保する的確な除雪作業をお願いします。」と述べた後、除雪作業を担う東信建設工業(株)のオペレーターの方が土湯道路の冬期通行確保に向けて決意表明をしました。

最後に、動作確認等、各除雪機械の点検を実施し、出動式を終えました。

春が来るまでの間、冬道の安全・安心に努めてまいります。



除雪機械を点検する様子

《おねがい》作業中の除雪車に近づいてしまったら 除雪作業中の除雪車を、無理に追い越さないで ください。

作業中は視界や路面状況が悪いことから、除雪車が予想外の動きをする場合があり、追い越す車と接触する危険性があります。

また、凍結抑制剤散布時にも、散布車に接近すると薬剤が直接車に付着する可能性があります。

このため、除雪車が作業を止め路肩に寄るまでは、
車間距離を確保しながら追従走行するよう御協力
ください。

令和7年度 福島県道路除雪感謝状贈呈式を行いました

令和7年度の道路除雪感謝状贈呈式を11月27日（木）に県庁で行いました。

これは、永年にわたり除雪業務に取り組まれた企業等や現場の最前線で除雪業務に献身的に取り組まれ、技能的にも優秀で後進の見本となっている除雪従事者の皆さんに対して、これまでの除雪業務への苦労と社会的貢献に敬意を表するため感謝状を贈るものです。

今年度は、4社（企業表彰）、24名（従事者表彰）の方々へ感謝状を贈呈しました。

皆さんには、夜間休日を問わず、長い間、除雪業務に従事され、冬の地域住民の安全・安心を支えていただき、深く感謝申し上げます。また、今後とも、よろしくお願いいたします。



感謝状を贈呈された皆さん（前列中央は県北建設事務所長、
両隣は吾妻土湯道路管理所主幹及び二本松土木事務所長）

（裏面あります！）

あづま総合体育館メインアリーナ改修工事を進めています!!

本工事は、地震による天井材の落下防止や照明のLED化を目的とするもので、現在は、仮設足場を設けて既存の天井パネルや照明器具の撤去を行っています。

利用者の皆様には大変ご不便をおかけしますが、安全・安心を確保するため、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年11月末時点の進捗率：18.5%
工期は、令和9年3月31日まで（予定）



あづま
総合運動
公園



新たに「うつくしまの道・川サポート制度」合意書を締結しました!!

県北建設事務所は、木幡地区大実取愛護会（会長：武藤清志）及び二本松市と、「うつくしまの道・川サポート制度」の合意書を令和7年12月4日（木）に締結しました。

この制度は、地域の方々と市町村、県の三者が協働して、道路・河川の清掃、美化活動を行うものであり、道・川を慈しむ心を育て、地域にふさわしい道や川づくりを進めるものです。

木幡地区大実取愛護会では、県道二本松川保線や木幡川筋の二本松市木幡字百々地内から貝屋地内（約600m）の清掃活動を行う予定です。



小学生を対象とした現場見学会を実施しました!!

建設業が持続可能な活力ある産業となり、将来の担い手の確保に向けて現場見学会を開催しています。令和7年11月10日（月）には県道上名倉飯坂伊達線天戸橋工区において現場見学会を実施しました。

桑折町立半田釀芳小学校5、6年生（33人参加）を対象に、橋桁の製作工場で溶接マスクを着用して作業を見学とともに、測量作業を体験しました。

今後も、建設業の社会的役割や現場のスケール感、やりがい等を直接肌で感じてもらえるような取り組みを行ってまいります。



福島県県北建設事務所 企画調査課

TEL 024-521-2513 FAX 024-521-2848

HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a/>

